



第58号  
 発行人 福井県剣道連盟  
 理事長 市橋和廣  
 事務局  
 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7  
 ㈱マルツ電波二の宮店 付属舎  
 TEL・FAX (0776) 28-6616  
 メール fkickendo@mx3.fctv.ne.jp

### ご挨拶

福井県剣道連盟

会長 土谷 靖彦



謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方には、希望に溢れた平成二十年の初春をお迎えになられたことと存じます。今年一年お元気で活躍されますことをお祈りいたします。

さて、昨年を振り返って見ますと、三月の理事会・評議員会に於いて「福井県剣道連盟長期構想」が承認され、この長期構想に基づいた連盟の運営が始まりました。事務局をはじめ各委員の皆様には、英知を結集して目的達成のために、粉骨碎身の活動を行なっていただいております。そのお姿を拝見しますと、福井県剣道連盟の十年後が楽しみになり、胸がワクワクする思いです。特に女性委員会の

活動が始まりましたことは、選手強化や底辺拡大、特に結婚・子育てで剣道を離れていた女性の方々が剣道を再開されるに当たり大きな力になることと期待しております。

八月には長野県で開催された北信越中学校総合体育大会において、鯖江中学校男子が団体優勝、女子団体では清水中学校が二位、三方中学校が三位入賞を遂げるなどの活躍をされました。同じく八月に本県で開催されました北信越国体では、成年女子・少年男子が出場権を獲得し、成年男子と併せて三種別で国体出場権を得るといふ国体ブロック予選が始まって以来の快挙を達成しました。九月末の秋田国体では、どの種別も今一歩で入賞を逃すという結果でしたが、来年こそは入賞が期待できる内容でした。選手はもとより指導陣の方々のご努力とご精進に敬意を表しますとともに、二十年度に向け一層の強化をお願いします。また、本年度からの新しい取り組みとして、本剣道連盟の諸事業に賛同し、そ

の事業の推進を支援していただくことを目的として、賛助会員を募り、現在、企業等八社、個人四名の賛助者を得ております。去る十二月八日(土)に賛助会員懇談会を福井パレスホテルにて開催しましたところ、稲田朋美衆議院議員を始め多数の賛助会員の皆様にお集まりいただき、剣道連盟への貴重なご意見や温かい励ましの言葉をいただきました。本当にありがとうございます。

話は変わりますが、十二月県議会において、西川知事は、今後半年くらいを目処に、平成三十年の福井県での二巡目国体の開催の有無について結論を出すとの発言をされました。開催となれば平成三十年まで約十年です。今年四月に小学校に入学予定の子どもたちが、少年男女の主力選手として活躍することになります。一般男女の強化と合わせてジュニアの育成についても強化を図る必要があるかと思えます。

本県における剣道の普及や強化には、県剣道連盟の財政的な基盤の安定化や組織の強化を図り、全会員が諸事業活動に積極的に参加していただけるような環境を整えていくことが重要だと思えます。今年も福井県剣道連盟の発展のために、微力ながら尽くして参りたいと存じますので、会員の皆様のご支援とご助力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

### ◆ 賛助会員御芳名 ◆

#### 企業等

- 株式会社 マルツ電波
- 医療法人 保仁会泉ヶ丘病院
- テクノス株式会社
- 株式会社 法美社
- 株式会社 エーアンドエス
- メディアボックス株式会社
- 大栄電設工業株式会社
- 千寿会医療福祉グループ

- 取締役社長 土谷 秀 靖 様
- 理 事 長 神谷 保 男 様
- 代表取締役社長 岩崎 貞 夫 様
- 代表取締役社長 木下 雅 俊 様
- 代表取締役社長 三田村 浩 實 様
- 代表取締役社長 佐々木 明 人 様
- 代表取締役社長 北谷 佳 久 様
- 理 事 長 片山 外 一 様

#### 個人

- 稲田 朋 美 様
- 荒川 純 治 様
- 岩永 暁 美 様
- 山口 武津雄 様

## 試合結果

## 平成十九年度 全国警察官大会

九月二十一日(金)  
於 日本武道館

本大会は、各都道府県警察と皇宮警察本部からそれぞれ一チームが出場し、三部制による各部ごとの勝敗が争われました。また、各部の入れ替え戦が含まれているため、会場は異様な雰囲気の下で、昇格を目指した激戦が行なわれました。昇格するには、最低でも第1次リーグを突破しなければなりません。福井県警は、第三部に出場し、第1次リーグで長野県警、島根県警と対戦しました。全員よく奮闘しましたが、1次リーグ敗退という結果に終わりました。

## ▽試合結果(第三部 第1次リーグ)

福井県警 1 | 3 長野県警  
福井県警 1 | 4 島根県警

## 大会に出場して

県警察本部機動隊 鈴木 秀典

四回目の今大会出場。「勝つためには何が一番重要なのか。」常に課題を持って稽古に励んできました。特に各種大会において、精神面の弱さがチームに悪循環を招き、先輩方の負担を増大している

という自身の反省に基づき、自ら臨む稽古を増やすことや座禅などを取り入れ、心技体の鍛錬に努め課題を克服してきました。大会当日は心身共に充実しているという感じがありました。

先鋒は、試合の流れを左右し、チームに勝機を呼び込む重要なポジションです。「まずは一本」という気持ちで試合に臨みました。しかし、試合が始まると、次に相手のペースに引き込まれ、二試合とも一本も取れずに負けてしまいました。その結果、チームに勝機を呼び込めず1次リーグ敗退という結果になってしまいました。

今大会を終え、同じ三部の選手に技術面・精神面ともに負け結果の通りとなったことは、非常に悔しく思っています。「なぜ勝てないのか」という愚問よりも、更なる心技体の鍛錬に励み、必ず勝つ剣道を目指し、今後の稽古に励んでいきたいと思えます。

## 平成十九年度 全国警察剣道選手権大会

九月二十一日(金)  
於 日本武道館

本大会は、各都道府県警察及び皇宮警察本部から各一名とシード選手が出場し、時間無制限一本勝負のトーナメント方式で開催されました。

福井県警からは、前田宜範選手、堀哲也選手が出場しました。前田選手は、一回戦に長身の宮尾選手(長野県警)と対戦しました。お互いに緊張から技が出ないまま八分が過ぎた頃、宮尾選手がメンに飛び込むとこれが前田選手の面を捉え、勝負が決しました。堀選手は、一回戦に小田選手(神奈川県警)と対戦しました。前半堀選手がメンに飛び込むも惜しくも旗一本で一本となりませんでした。六分を過ぎた頃鏝競り合いから一瞬の隙を捉えた小田選手の引きメンが決まり、堀選手も敗退しました。

## ▽試合結果

前田 ーメ 宮尾(長野県警)  
堀 ーメ 小田(神奈川県警)

## 感想

県警察本部機動隊 前田 宜範

私は、この大会に初めて出場したのですが、初出場と第一試合目であったことが重なり、かなり緊張して試合を迎えました。

この大会は独特の雰囲気があり、一本勝負という条件もあるため、どの選手も十分に勝ち上がれるチャンスがありました。しかし、いざ試合が始まってみると思うような剣道が出来ず、悔いの残る結果となってしまいました。

攻めと守りがバラバラになってしまい、

攻め切れず思い切った技を出すことが出来ませんでした。条件は同じであるが勝てない、やはり気持ちの弱さが原因にあると思います。他の選手の試合を観察してみると、強い選手でも緊張のためか動きの悪い選手がいました。強い選手は、調子が悪くても守りに入らないことが目に留まりました。

気持ちだけで勝てるものではないと思いますが、私にとって大変勉強になりました。今後この大会から学んだことを自分の剣道に活かして行きたいと思えます。

## 平成十九年度 秋田わか杉国体

九月三十日(日)～十月三日(水)  
於 秋田県 男鹿市総合体育館

本大会には、少年男子、成年女子、成年男子の三種別で出場しました。どの種別も今一步で入賞を逃すという結果でした。特に、成年女子は地元秋田県との対戦でしたが、先鋒の山田選手が開催県相手であれば一本という惜しい技を連発しました。また、中堅の高嶋選手は、審判が仕方なく福井に旗を挙げるといいうくらしい完璧な面を決め勝利しました。大将の荒木選手の試合は、一本では無いのではという技を一本に取られての敗戦でした。来年こそは入賞が期待できる内容でした。

▽試合結果

・少年男子 一回戦

福井県 2-1-3 青森県

先鋒 山崎 メーメーメ 柴田

次鋒 永宮 メーメメ 倉本

中堅 上田 ーメ 蛭子

副将 金子 コー 小濱

大将 井上 ーコ 山中

・成年女子 一回戦

福井県 1-1-2 秋田県

先鋒 山田 ーメ 鈴木

中堅 高嶋 メー 中村

大将 荒木 ードコ 堀川

・成年男子 一回戦

福井県 2-1-3 山梨県

先鋒 西川 ード 鹿野

次鋒 西 コー 岡

中堅 松井 ドーメド 馬場

副将 堀江 反ー 上原

大将 田口 ーココ 中野

感想

成年男子先鋒 西川 航平

今回初めて国体に出場しました。私にとって国体は憧れの大会の一つでした。雑誌やテレビなどで見ていた選手たちと同じコートに立ち試合することができて、とてもうれしく思いました。  
一回戦は山梨県と対戦でしたが、私の相手の鹿野選手は全日本学生選手権で二

位、関東学生選手権で優勝という実績のある選手でした。私が大学時代に観客席から見ていた選手です。そんな相手の前にして浮き足立ちそうになる私に、福井県チームの先生たちがアドバイスをしてくださり、そのお陰もあって落ち着いて試合に臨むことができました。実際に試合が始まると、惜しい技もあり善戦することができました。最後は、延長戦で捨て身の面に行ったところを、上手く胴を抜かれてしまいました。自分の力の全てを出すことができたと思います。

今回国体に初めて出場させていただきましたが、チームの先生方や諸先輩に支えられて、自分の今もっている力を出し切ることが出来ました。次回、国体に出場できたならば、チームの柱の一人となれるように、今後もしっかり修行していきたいと思えます。

平成十九年度

福井県実業団柔道・剣道大会

十一月四日(日)

於 福井県立武道館

平成十九年十一月四日(日曜日)に福井県立武道館にて平成十九年度福井県実業団柔道・剣道大会(主催 福井県実業団柔剣道連盟)が開催されました。実業団柔剣道大会は、日頃剣道の鍛錬をされ



ている社会人であれば参加する事が出来る大会です。今年の大会には、団体戦(五人制) 十三チーム八十二名、団体戦(三人制) 十五チーム五十二名、個人戦は男子三段以上の部六十四名、男子三段以下の部三十四名、女子三段以上の部九名、女子三段以下の部七名が出場を致しました。出場選手は昼間は仕事をし、時間を上手に作りながら剣道の稽古をされている方ばかりです。試合が始まると日頃の仕事を忘れ熱戦が繰り返されま

た。  
毎年十一月に福井県実業団柔剣道大会は開催されます。参加希望の方は福井県実業団柔剣道連盟事務局(日華化学内 電話番号 〇七七六一二五―八五五五 担当 干場さん)まで、お問い合わせ下さい。多

くの皆様の参加をお待ちしております。

▽試合結果

・Aブロック団体戦(五人制)

優勝 福井刑務所

二位 福井大学 医学部付属病院

三位 福井県庁

・Bブロック団体戦(三人制)

優勝 福井大学 地域共同研究センター

二位 北陸電力(株)福井支店

三位 関西電力(株)原子力事業本部

・男子三段以上の部

優勝 角谷 貴之(アイテック(株))

二位 児島 俊也(アイテック(株))

三位 中谷 哲一(株ミツノリ)

・男子三段以下の部

優勝 山田 英二

(福井大学 地域共同研究センター)

二位 竹内 正樹(株マルツ電波)

三位 野口 佑司(株村田製作所)

・女子三段以上の部

優勝 新井 洋子(堀田商店)

二位 田中佐代子(鯖江市役所)

三位 安原 真紀

(東レ・ダウコーニング(株))

・女子三段以下の部

優勝 古河 公代(医療法人 東山会)

二位 土田 沙織(アイテック(株))

三位 小山加代子(医療法人 東山会)

### 第55回全日本剣道選手権大会

十一月四日(日)  
於 日本武道館

今大会には七月の福井県剣道選手権大会で優勝し初出場を果たした坂田直哉選手(福井工業大学附属福井高校)が一回戦で鹿児島県代表の西裕幸選手と対戦しました。初出場でやや硬さが見られた坂田選手ですが、よく相手の攻撃を凌ぎ、延長戦となりました。延長戦に入り、坂田選手と西選手両者が捨てきったメンを打つと、軍配は西選手に上がり坂田選手は惜しくも敗退しました。

(延長)

坂田直哉 ーメ西 裕幸(鹿児島県)

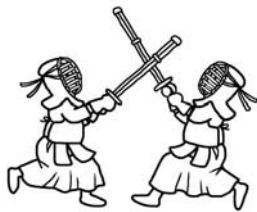
### 全日本剣道選手権大会に出場して

坂田 直哉

今回教員としては、西川譲先生以来十四年ぶりに選手権大会に出場させて頂き、とても光栄に感じています。

大会当日一回戦の相手は鹿児島県代表の西選手でした。絶対勝ってやるという気持ちよりも、この場所で恥ずかしい試合はできないという気持ちのほうが上回っていました。結果的に言うとな勝負にこだわらなその気持ちが駄目だったのだと思います。試合が近づくと、変な緊張

張感が自分を襲いました。他の試合を見ていると「あの場で自分も試合するのが。下手な試合はできない」と自分で自分を追い込んでしまいました。なるべく冷静に精神統一をし、自分の出番を迎えました。やはり、この舞台は他のどのよう大会と比べても別格でした。「思うような動きができない」率直な感想でした。試合は相手も慎重になっており、お互い惜しい技を何本か出しましたが勝負は時間内につき、延長に入りました。「どこかで捨てきった技を思い切り打たなければ」と考えながら相手を攻めました。ここだと思った時、相手が一瞬早く懐に入ってきました。なんとか体を捌いて面に乗ろうと試みましたが合い面で敗れてしまいました。精神面の甘さが出てしまいました。しかし悔しいという気持ちはありました。不思議と後悔はありませんでした。全体的に観ても大きな力の差も感じませんでした。「また来年も挑戦したい」と率直に感じました。そういう不思議な魔力のある魅力ある大会でした。



### 第二回福井県中学校秋季新人大会

十一月十日(土)  
於 敦賀市中之郷体育館

男子団体は各チーム力に差が無く、混戦模様でしたが、夏の優勝校である鯖江中学校が昨年度秋季新人大会からの連続優勝を遂げました。

女子団体も各チームに力の差が無く、予選リーグから混戦模様でしたが、三方可中学校が粘り強い試合を展開し優勝を果たしました。特筆すべきことは、決勝トーナメントに進んだ四チーム中三チームが福井地区代表だったということです。福



井地区の三チームともに、勢いのある剣道を展開していました。

個人戦では、各地区の代表がしのぎを削り、好勝負を展開していました。

(遠藤 正宏記)

#### ◆男子団体の部

・予選Aリーグ

①鯖江 ②三方 ③成和 ④今庄

・予選Bリーグ

①明倫 ②三国 ③勝山中部

④小浜第二

・決勝トーナメント

一回戦(準決勝)

○鯖江 3-0 三国 △

△明倫 1-3 三方 ○



◆女子団体の部

・予選Aリーグ

①森田 ②足羽第一 ③中央 ④今庄

・予選Bリーグ

①三方 ②藤島 ③丸岡 ④小浜第二

・決勝トーナメント

一回戦(準決勝)

△森田 0-2 藤島 ○

○三方 2-2 足羽第一 △

(本数勝ち)

・決勝

○鯖江 2-2 三方 △

(本数勝ち)

結果

①鯖江 ②三方 ③三国 ④明倫



・決勝

△藤島 1-2 三方 ○

結果

①三方 ②藤島 ③足羽第一 ④森田

◆男子一学年の部

①中西 幹(三方)

②宮浦 秀明(足羽第二)

③楠田 和末(藤島)

③木村 侑翔(明倫)

◆女子一学年の部

①柳原 有花(森田)

②福岡 知美(丸岡)

③牧野 綾佳(丸岡)

③橋本 実也(朝日)

◆男子全学年の部

①増田 貴彦(鯖江)

②田島 一希(清水)

③橋詰 和昭(三方)

③小林 哲也(春江)

◆女子全学年の部

①増田 成美(武生第二)

②平本 みな(足羽第二)

③安藤 有紀(三方)

③金子 真利(清水)

ねりんピック茨城

2007剣道交流大会

十一月十日(土)～十一日(日)

於 茨城県 土浦市

本大会には、県剣道連盟より選抜された選手補欠六名が参加しました。予選リーグでは、地元茨城県Bと本年度団体開催の秋田県と対戦しました。秋田県には勝利しましたが、茨城県には完敗し、一勝一敗で決勝トーナメント進出はなりませんでした。

▽試合結果 予選リーグ

福井県 3-1 秋田県

先鋒 四ツ木メモー 松村

次鋒 河合 × 倉本

中堅 堤腰 |メモ 菊地

副将 山田 |メモ 藤田

大将 金嶋 |メモ 栗山

福井県 0-5 茨城県

先鋒 四ツ木 |メモ 田口

次鋒 河合 |メモ 萩原

中堅 堤腰 |メモ 木村

副将 山田 |ココ 堆

大将 金嶋 |ココ 平根

選手・監督

先鋒 四ツ木善一(南条地区)

次鋒 河合 岩暢(三方地区)

中堅 堤腰 昭(敦賀地区)

副将 山田 昭栄(越前地区)

監督・大将 金嶋 八郎(越前地区)

補欠 吉田 喜一(福井地区)



平成十九年度 高校剣道新人大会

十一月十七日(土)～十九日(月)

於 福井県立武道館

本大会の団体戦では、男女共に実力の伯仲した熱戦が展開されました。試合結果が示すように、どのチームが優勝しても不思議でない試合が連続しました。男子個人戦では実力に勝る金子選手が優勝しました。女子個人戦では美方高校の小堀選手が接戦を制しました。



▽試合結果  
【男子団体戦】

- ・一回戦
- 敦賀 5 | 0 藤島 △
- △ 武生東 1 | 2 金津 ○
- 羽水 3 | 1 丹生 △
- 啓新 3 | 0 福井 △

・二回戦

- 敦賀 2 | 1 丸岡 △
- 武生 4 | 0 鯖江 △
- △ 金津 0 | 2 北陸 ○
- 高志 5 | 0 羽水 △
- 三国 4 | 1 敦賀工業 △
- 科学技術 0 | 5 美方 ○
- 啓新 2 | 0 気比 △

・三回戦

- 敦賀 2 | 0 武生 △
- △ 若狭 0 | 5 北陸 ○
- 高志 3 | 0 三国 △
- 美方 1 | 0 啓新 △

・準決勝

- 敦賀 1 | 1 北陸 △
- (本数勝)

・決勝

- △ 高志 2 | 3 美方 ○
- △ 敦賀 1 | 2 美方 ○

優勝 美方高校

二位 敦賀高校

三位 高志高校

三位 北陸高校

【女子団体戦】

・一回戦

- △ 金津 0 | 2 武生 ○
- △ 武生東 0 | 3 敦賀 ○
- 若狭 3 | 1 丸岡 △
- 福井 3 | 0 藤島 △
- 気比 0 | 5 高志 △

・二回戦

- 啓新 4 | 1 武生 △
- 敦賀 2 | 1 若狭 △
- 北陸 2 | 1 福井 △
- △ 高志 1 | 3 美方 ○

・準決勝

- 啓新 2 | 2 敦賀 △
- (本数勝)
- 北陸 2 | 1 美方 △



・決勝

- △ 啓新 1 | 4 北陸 ○

優勝 北陸高校

二位 啓新高校

三位 美方高校

三位 敦賀高校

【男子個人戦】

優勝 金子 亮介 (丸岡高校)

二位 田上 佑磨 (美方高校)

三位 小谷 佳己 (敦賀高校)

三位 小松原 翔 (敦賀気比高校)

【女子個人戦】

優勝 小堀紗津希 (美方高校)

二位 八木麻有実 (北陸高校)

三位 伊藤 藍子 (啓新高校)

三位 八百 里紗 (若狭高校)

美方高等学校剣道部

主将 今井 達也

私たち美方高等学校剣道部は、十一月に行われた福井県高等学校剣道新人大会で優勝させていただくことができました。このことで、故小堀源治郎先生が常に言っておられた「四恩」いわゆる「父母の恩、師の恩、社会の恩、勝って知る仲間の恩」の有り難さを、身をもって知ることができました。本当にうれしい優勝でした。全国高等学校剣道選抜大会では福井県代表として最高の試合をし、愛知県春日井の地に美方旋風を巻き起こしてきたいと思えます。

北陸高等学校剣道部女子

主将 北島なぎさ

新人大会で優勝し全国選抜大会への切符を手にした私たちですが、まだ何も力などはありません。ただ、気迫とパワー、そして「絶対に勝つ」という気持ちはどの学校のどの選手にも負けません。この気持ちの強さが優勝に繋がったのだと思っています。また、先輩方や多くのOB、OGの皆さんの応援が私たちを支えてくださり、深く感謝しています。

選抜に向けてより一層心技体を強化し、チームとしても成長し、全国の選手達と堂々と戦いたいと思います。日々高い目標を持って稽古に励み、必ず予選リーグを突破したいと思います。

第28回少年剣道芦原大会

十二月二日(日)  
於 トリムパークかなづ

今大会では、審判の厳正を尽くすために、試合が終わる度に、コート主任が審判員三人に、今の試合の審判について指摘と指導を行なうという本県では初めての取り組みが、行なわれました。審判員の審判振りも試合が進むことに良くなり、そのためか好試合が展開されました。

団体試合では、戦前の予想通り石川県の大聖寺少年剣道教室Aと福井県の武道



学園剣道教室Aの決勝戦となりました。先鋒戦、次鋒戦は引き分け、中堅戦は大聖寺Aが一本勝ち、副将戦は引き分けと息が詰まるような試合が展開され、大将戦になりました。大聖寺Aの大将には個人戦において圧倒的な地方で優勝した塩野選手が控えています。大聖寺Aが絶対有利の試合と思われましたが、塩野選手に対し武道学園Aの大将堀江選手は、立ち上がり際に胴に飛び込むとこれが見事に決まりました。その後、お互いに決大打が出ず、堀江選手の一本勝ちとなり、試合は一勝一敗で同本数となり、代表戦となりました。代表戦は、大将戦と同じ

塩野選手と堀江選手の対戦となりましたが、気迫に勝る堀江選手が立ち上がりから攻め続け、塩野選手が思わず居いたところに見事な面を決め、武道学園剣道教室Aが初優勝を遂げました。

▽試合結果

【団体戦】

- 優勝 武道学園剣道教室A
- 二位 大聖寺少年剣道教室A
- 三位 大聖寺少年剣道教室B
- 三位 志比剣道スポーツ少年団A

【個人戦】

- 男子の部
  - 優勝 塩野 海風(大聖寺少年剣道教室)
  - 二位 坂口 雄介(大聖寺少年剣道教室)
  - 三位 高野 航一(河和田剣友会)
  - 三位 竹田 涼(粟野剣道教室)
- 女子の部
  - 優勝 野村 知加(鯖江泰成館)
  - 二位 川猿 海鈴(三国少年剣道教室)
  - 三位 山本 佳那(鯖江泰成館)
  - 三位 桐生 菜緒(三国少年剣道教室)

芦原大会を終えて

武道学園剣道教室 堀江 尚史

まずは、一回戦で江守の里と当たって、チームは勝ったけれど、ぼくは負けてしまいました。ぼくは、もうだめかなと思っ

になって試合に臨んだら、メンで二本勝ちできました。

そして、むかえた決勝戦、大聖寺少年剣道教室と当たりました。一敗したじょうきょうでよくに回ってきたので、無心になって試合に臨みました。すると、今までに決まったことのないドウで一本取り勝つことができたので、代表戦になりました。代表戦にはぼくが出ることになり、一生懸命試合をした結果、得意のメンで一本取って勝ちました。ぼくにとって最後まで気の抜けない試合でした。

これからも、欲を出さず武道館の旗に書いてあるように、一生懸命をモットーにがんばろうと思いました。

第26回少年剣道練成敦賀大会

十二月九日(日)  
於 敦賀市粟野スポーツセンター

本大会は、二十年三月に静岡県で開催される全国スポーツ少年団交流大会の予選を兼ねて開催されました。試合は、小学校団体の部と中学生個人男女の部に分かれて行なわれ、小学校の団体戦は先鋒四年生、次鋒・副将五・六年生女子、中堅・大将は五・六年生男子という独特のオーダー編成により熱戦が展開されました。小学校団体戦では、鯖江泰成館道場が今年度初優勝を遂げました。全国大会



団体の部には丸岡剣道スポーツ少年団A、中学生男子の部には斎藤展人(吉川スポーツ少年団)、中学生女子の部には富永夏帆(吉川スポーツ少年団)が出場することになりました。

▽試合結果

【小学生団体の部】

- 優勝 鯖江泰成館道場
  - 二位 丸岡剣道スポーツ少年団
  - 三位 きらやま剣道教室
  - 三位 武道学園剣道教室B
  - 敢闘賞 栗野剣道教室
  - 敢闘賞 向笠剣道スポーツ少年団
- 【中学生男子の部】
- 優勝 斎藤 展人

(吉川スポーツ少年団)

- 二位 森口 広也 (高浜少年剣道教室)
  - 三位 宮本 隆史 (敦賀剣道スポーツ少年団)
  - 三位 植原 靖裕 (福井少年剣道クラブ)
- 【中学生女子の部】
- 優勝 富永 夏帆 (吉川スポーツ少年団)
  - 二位 松田 育子 (吉川スポーツ少年団)
  - 三位 吉寄 友梨 (鯖江剣道スポーツ少年団)
  - 三位 加藤 菊美 (立待剣道スポーツ少年団)

第56回 全日本都道府県対抗

剣道優勝大会県内予選会

平成二十年二月三日(日)  
於 福井県立武道館

標記の大会の県内予選会が開催されました。先鋒の部三名、次鋒の部九名、五将の部七名、中堅の部十一名、三将の部十三名、副将の部八名、大将の部六名の男女五十七名が参加して熱戦が展開されました。各部門で優勝した七名の剣士が、四月二十九日(火)に大阪市中央体育館で開催される本大会に出場が決定しました。大会での上位入賞を目指し、稽古に

励んでいたことを期待します。

▽試合結果

- ・先鋒の部(年齢十八歳以上三十歳未満の女子。高校生、大学生を除く)
- 優勝 山田 聖子(越前地区)
- 二位 北山 愛佳(三方地区)
- 三位 澤村 知里(三方地区)
- ・次鋒の部(年齢十八歳以上三十歳未満の男子。警察職員・刑務職員・教職員の男子。教育委員会職員を含む。ただし、非常勤講師を除く。以下同じ)高校生、大学生を除く)
- 優勝 西川 航平(南条地区)
- 二位 北村 禎彦(敦賀地区)



- 三位 内田 久仁(鯖江地区)
- 三位 橋本 一人(敦賀地区)
- ・五将の部(年齢三十歳以上の女子。職業に制限なし。)
- 優勝 高嶋 寿美(福井地区)
- 二位 谷口 典子(越前地区)
- 三位 道内由佳里(福井地区)
- 三位 新井 洋子(福井地区)
- ・中堅の部(教職員の男子。年齢に制限なし。)
- 優勝 道内 博道(金津高校)
- 二位 澤 昌(丸岡高校)
- 三位 小辻 淳二(敦賀市栗野中学校)
- 三位 和田 真吾(越前市北新庄小学校)
- ・三将の部(警察職員および刑務職員の男子。年齢に制限なし。)
- 優勝 西 勇人(福井県警機動隊)
- 二位 堀 哲也(福井県警機動隊)
- 三位 坪田 隆雄(福井県警機動隊)
- 三位 鈴木 秀典(福井県警機動隊)
- ・副将の部(年齢三十歳以上の男子。警察職員・刑務職員・教職員を除く。)
- 優勝 畑 祐一郎(鯖江地区)
- 二位 塚田 直人(鯖江地区)
- 三位 蓑輪 有徳(鯖江地区)
- 三位 川村 信也(福井地区)
- ・大将の部(剣道教士七段以上の男子。年齢四十歳以上の者。)
- 優勝 堀江 範雄(坂井地区)
- 二位 宮川 保則(越前地区)
- 三位 堤腰 一昭(敦賀地区)





終戦後禁止されていた剣道が、敦賀の地では昭和二十六年に再開され、次第に愛好者も増え、昭和二十八年秋に「福井県剣道連盟 敦賀支部」が発足しました。歴代会長をはじめ歴代会員の努力により今日の敦賀地区剣道連盟があり、本年秋には五十五周年を迎えます。昭和二十九

敦賀地区剣道連盟

みんなの広場

剣道部・  
くらげ紹介

年には第一回の敦賀市民剣道大会が開催され、昨秋に第八十八回の大会が開催されました。また、昭和五十七年秋には、第一回敦賀市長旗争奪福井県少年剣道錬成大会を発足し、昨秋第二十六回大会が開催されました。昭和五十三年に気比神宮横に敦賀市青少年錬成センター（後に敦賀市武道館と改称）が落成し、昭和四十五年に発足した少年部共々専用の稽古場を確保することができました。現在一般の会員は七十七人が所属し、役員は次の通りです。

- 名誉会長 神谷 保男
- 会長 矢田 豊
- 副会長 矢田 守
- 中川 満
- 理事長 矢田 守
- 事務局長 堤腰 昭
- 事務局所在地 敦賀市泉ヶ丘町十七番地十七 堤腰 腰昭

◎主な年間行事  
☎(0770)2517373

- ・寒稽古（毎年第二週目の月（金曜日））
- ・級位審査会（七月・十月・三月）
- ・県民スポーツ祭 剣道競技参加

# 敦賀地区剣道連盟

会長	矢田	豊
副会長	矢田	守
副会長	中川	満
理事長	矢田	守

事務局 敦賀市泉ヶ丘町17番地17 堤腰 昭方  
TEL・FAX 0770(25)7373

## 丸和製材所 有限会社

代表取締役 矢田 豊

福井県敦賀市蒔生野73号1番地の1  
TEL (0770) 22-3355  
FAX (0770) 25-3355

- ・福井県剣道連盟の主催する大会への参加

- ・敦賀市民剣道大会 (毎年秋)

- ・福井県少年剣道錬成敦賀大会 (毎年秋)

- ・福井県剣道連盟主催の合同稽古会 (六月)

- ・福井県剣道連盟主催の指導者講習会 (九月)

◎稽古日 (一般会員)

- ・敦賀市武道館で

月々金曜日の午後八時より

◎傘下少年剣道団体

敦賀市剣道スポーツ少年団

栗野剣道教室

福井養正館

福井養正館ひばりヶ丘道場

今後、敦賀地区剣道連盟の課題としては、稽古場である敦賀市武道館が老朽化してきているため、新たな合宿所併設の武道館の新築に向けた行政当局への強い働きかけが挙げられます。また、少年剣道の人口減少に歯止めをかける方策を構築し、剣道人口の増加に繋がる活動を続けて行く所であります。(堤腰 昭記)



福井刑務所剣道部

福井刑務所剣道部は、剣道の本義を昂揚し、剣道の普及と福井刑務所剣道の発展並びに部員相互の親睦融和を図ることを目的とするとともに、一般剣道愛好者のため社会に貢献することを理念として発足しました。

柔道、剣道は刑務官としての正課であり、厳しい日々の勤務にあたっての体力、精神力を培うことに通ずるものであります。

稽古は平日勤務終了後一時間程度、当所の錬成館道場で行なわれます。礼節や正しい基本打ちを大切しながら、稽古に励んでいます。

部としての活動は、矯正関係の剣道大会への参加を中心に、各大会行事に参加させていただいております。



また、地域との交流を図るために、刑務所職員が指導者となり当錬成館を使用し、木田剣道スポーツ少年団

の稽古も行なわれております。当剣道部では、部員各位の和を持って互いに切磋琢磨し、剣道に精進して行く所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。(幸道 喜代志記)

科学技術高等学校剣道部

今年創立百周年を迎えた科学技術高等学校の剣道部を紹介させていただきます。

昭和五十年代には元校長、

北野左京先生が顧問をされ、県大会で男子団体二位入賞を何度も果たす強豪校でした。残念ながら近年は成績的にはあまり奮いません。平成十五年の福井県剣道連盟創立五十年記念福井県剣道大会で男子団体三位に入賞したのが最高です。

本校剣道部は男女の入部が認められていますが、男子生徒中心の実業高校であることと近年の小子化・生徒減により部員の確保が大変です。入学時の勧誘において中学校時

剣道・徳育修練道場

福井養正館

館長 堤腰 昭

連絡先 敦賀市泉ヶ丘町17番地17  
TEL・FAX 0770 (25) 7373

日本海から 味の便り  
あなたに届けたいのです。

(有)魚新 (有)えび新

代表者 中川 満 代表者 中川 満

専務 竹本 直和

敦賀市神楽町1の4 0770-22-0461 敦賀市蓬萊町15の7 0770-25-1086

魚街直売所  
0770-21-3833

代の経験者に、高校では他の部で活動してみたいと断られるケースも少なくありません。そこで我が部では「勝つ」ことに目標を置くのではなく、活動そのものに段位取得をひとつの柱に考えています。中途入部も歓迎です。初心者も大歓迎です。とにかく三年間続けること。初心者は半年で一級、一年で初段取得を目安にしています。このスタンスで毎年の部員総数はなんとか十名以上を保っています。

剣道は日本の伝統であり、文化です。最低限の所作、挨拶、礼法を守らせると、覚えること、身につけること。これは日本人としての美徳を継承することにつながります。形の理念にもあるように、毎日の稽古は「同じことの繰り返し」いわゆるルーティンワークです。身体に覚えこませる基本動作。頭で考えずに無意識で反応できる。北野先生から贈っていただいた部旗、面手拭いに染め抜かれた『無心』の文字はまさに「道」としての心得を教えてください。短い練習時間でも毎日愚直に同じことをやり抜く、それを基本に考えています。

この精神から試合では『無心』で自分から攻めること、相手が打ってきたら必ず応じること、引き技も恐れずに自分からしかけることを指導しています。それだけです。勝ち負けには顧問が一番こだわっていないつもりです。勝っても、負けても、思い切って試合に臨んだ生徒に

は一切叱ったことはありません。試合に出るメンバー選考も日頃の稽古の出席率から決めます。実力は考慮しません。素人同然の正顧問で十六年間やってきました。ひとえに周囲の方々、先生方のご指導ご鞭撻のおかげです。特に学校剣道連盟の先生方にはなみなみならぬご援助をいただいております。今後ともよろしくお願い致します。

(南部 泰啓記)

### 江守の里剣道教室

福井市の江守の里剣道教室は、昭和五十四年に設立されました。現在小学生二十四名が所属、社南小学校体育館を中心に、日々稽古に励んでいます。水曜日と土曜日に一時間半から二時間の稽古を行っており、林茂夫教士七段ほか三名が指導にあたっています。

当教室では勉強と剣道の二つの道を最重要視し、調和のとれた社会人を形成するため「文武両道」を道場訓に日々の練習から集中力、忍耐力を養っています。

福井市でも児童数の多い社南小学校の児童が部員の中心ですが、残念ながら近年他のスポーツ少年団に比べ部員が少ない状況でした。そこで、昨年からは、年二回の体験会を開催したところ、新たな部員が入部してくれました。礼儀作法や強



い精神力の涵養、先生、先輩を敬い仲間を思いやる心、といった学校教育だけではなかなか得られない剣道の魅力を、体験会を通じて知ってもらい、きっかけを提供できたことがよかったですと思っています。また社南地区だけでなく社地区という大きなエリアでのチラシ配りも、功をなしたのかもかもしれません。

今年には部員も増え、子供たちも熱心に稽古に励んでいます。部員同士大変仲が良く、日々の練習や年二回の合宿、夏祭りなどの地域行事への参加を通じてできた先輩、友達



医療法人 保仁会

# 泉ヶ丘病院

併設 介護老人保健施設 湯の里ナーシングホーム  
企業健診 敦賀健診センター

敦賀市中 8 1 号岩ヶ鼻 1 番 1 1

TEL 病院 0770 (22) 7700 TEL 老健 0770 (22) 4400

の輪がしっかりとできてきているのが自慢です。また先生との絆も大変深く、厳しい稽古の中にも、先生を信頼している様子がうかがえます。社会人、大学生、高校生のOBも頻りに稽古に訪れ、部員にとっては様々な世代の人と接することができる場にもなっています。

これからの「文武両道」を胸に、江戸の里剣道教室としての輪を崩すことなく、厳しく時には温かく見守りながら、子ども、指導者、保護者が一体となり精進していきたくと考えています。今後とも皆様の温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(伊川 勇生記)

### 勝山市剣道スポーツ少年団

勝山市剣道スポーツ少年団は、市剣道連盟の下、小学生十名、中学生九名で活動しています。稽古は、毎週月・金曜日が上級者、水曜日が初級者稽古日として、勝山市武道館や市営体育館で汗を流しています。また、春には市民大会、夏には合宿、冬は寒稽古等、年間を通して多くの行事を行なっています。県内の大会にも積極的に参加して、団員全員が目標を持ち、練習に励んでいます。

「明鏡止水」を団旗に掲げ、剣道の技の上達のみならず、ゆるぎない精神の向上を大切に、日々の稽古に邁進して

ます。

現在、団員の募集をしています。

武道の素晴らしさが身につきますので、入会を希望される方は、随時ご連絡ください。

### 勝山市剣道連盟

- |        |              |
|--------|--------------|
| 会長     | 朝井 直正        |
| 副会長    | 方堂 富雄        |
| 副会長    | 川原 茂         |
| 少年剣道指導 | 小倉 武士        |
| 少年剣道指導 | 竹原 康裕        |
| (連絡先)  | 077918713436 |

### 武生西剣道スポーツ少年団

武生西剣道スポーツ少年団は、昭和四十年に「武生西剣道教室」としてスタートし、昭和四十三年に、名称を「武生西剣道スポーツ少年団」に改めて今日に至っています。



この間、四十余年が経ち、県内でも数少ない歴史と伝統のある剣道スポーツ少年団として名を馳せています。

運営主体は、近年の少子化等による団員数や社会情勢の変化に対応した運営というところで、地域地区、育成会、指導者がタイアップして、剣道に励む少年剣士達をしっかりとサポートしつつ伝統を継承しているところです。

現在の指導者は、山本聡実氏、中村圭三氏、岡田孝一氏、宮川保則氏、高原理江子氏等が中心になって、当団の指導方針に沿って力を注いでいます。

その指導方針は、スポーツ少年団の理念に沿って「礼」の前に「私達は剣道を通じて、心身の練磨にあたります。私達は剣道を通じて、友情の和を広げます。」と誓いの言葉を唱和して稽古を始めています。また、団旗に「誠心」を掲げ剣道を通じて礼儀をモットーとし「思いやりの心」と「清い心」を育てるための指導を心掛けるとともに、これらのことを主眼に、剣道の礼儀作法と正しい剣道、基本に忠実な剣道を団員一人ひとりが身に付けられるよう、年齢層ごとに充分な時間をかけ、その繰り返し稽古を大切にしています。

稽古日は、毎週水、土、日曜日の三回をベースに年間を通じて稽古に励んでいます。平日の水曜日は、武生西児童館で午後七時三〇分〜九時まで、土、日曜日

は武生西小学校体育館で行い、年中午前七時三〇分〜九時までの早朝時間帯を稽古に充てています。結構、今の時代には厳しい環境ではありますが、挫けることなく団員、育成会も頑張っています。

活動は、定例の稽古の他、期間に応じて暑中稽古、寒稽古も恒例的に実施しています。また、スポーツ少年団主催の大会、レクリエーション、リーダー研修会、地区の各種イベント等にも積極的な参加を心掛けています。一風変わったところでは、夏休みの最初二日間を体育館で座禅なども行なっています。さらには夏休みの暑中稽古納会には、親子剣道を行うなど、剣道を通じて行っている諸活動が、こんなにも「思い出」

づくりという面から少年剣道の育成に、欠かせない大切な事である



ことを実感しつつ、指導者、育成会ともども奮奮している今日この頃です。

(宮川 保則記)

### 豊剣道教室

豊剣道教室は、昭和六十二年にスポーツ少年団として始まり、二十数年が経ちました。主な活動場所は豊公民館の体育館で、稽古日は毎週月・土曜日の七〜八時半までの一時間半です。また、火・水・金曜日は、素振りを中心とした体力づくりを行なっています。男女合わせて十四名と少数精鋭で自己鍛錬に励んでいます。私たちは年間を通して県内外にと、様々な大会に参加しています。過去には、各大会において上位入賞や全国大会出場といった輝かしい成績も残っています。また、春休みや夏休みになりますと、一日三部練といった厳しい合宿もします。日々の稽古のように、ただ稽古をして帰って行くのではなく、合宿の中で寝食を共にすることで、指導者・保護者・子どもたちが、三身一体とより親密になり、お互いの理解が深まると考えています。

また、出稽古も子どもたちが成長する糧になっています。度々、近辺の地区との合同稽古をすることで、とてもよい刺激を受けています。

さらには、子どもたちの指導が終わった後には、大人の稽古も実施しています。指導者同士の稽古では、指導者を育てることも視野に入れた稽古を行なっています。保護者の中には経験者もおおり、子どもたちと一緒に剣を握った後で、再び剣道を基礎から学ぶ方もおられます。最近、保護者の剣道の部も出来、より一層活気が出てきました。

今後は、この教室の卒業生が、指導者として帰ってきてくれ、一緒に教室を盛り上げてくれるようにすることが、私たち指導者のもう一つの役目だと考えています。

子どもたちに剣道の楽しさを伝えるとともに、厳しさも伝え、長く楽しく剣道を続けて欲しいと願っています。

(手賀 薫記)



### きらやま剣道教室

きらやま剣道教室（三方地区剣道連盟に所属）は昭和四十七年四月に三方町第一小学校（現若狭町三方小学校）三年生以上を対象に社会教育の一環として同体育館を道場とし、校下の剣道経験者が指導にあたったのが始まりといわれています。現在、当教室は毎週水曜日を練習日とし、全学年を対象に午後七時から八時三〇分まで（低学年は八時まで）三方小学校体育館で稽古を行っています。

稽古前には、教室の誓いの言葉「私達は剣道によって礼儀を正しくし、両親に感謝し、先生を敬い、剣道少年としての誇りをもって正しい道を歩いて、世のために役立つようがんばります。」を全員で唱和し、創設当時の精神である恩恵に対する感謝や他に対する尊敬の念を新たにしています。また、当教室の旗には「洗心」の文字が記されており、心身を研磨し、物事に冷静に対処するという意味のもと、全員が一生懸命稽古に励んでいます。現在、会員数二十七名、指導者一〇名で、一、二年生は防具をつけずに足さばきや木刀での素振りを遊び感覚を織り交ぜながら、三年生は基本打ち中心に、四年生から六年生は基本打ち、応じ技、互角稽古を中心にそれぞれの技量に応じた稽古をしています。その他、各

種大会前の

強化練習お

よび寒稽古

をそれぞれ

一週間程度、

連続して行

い、寒稽古

納会では、

きらやま剣

道大会を催

し、一年間

の稽古の成

果を実戦で

確認してい

ます。



また、年度末には皆勤賞を授与し、継続しやり遂げることの大切さを実感できるようにしています。さらに、中学校へ入学後も剣道を続けて欲しいという願いから、中学生との交流会を兼ね六年生を送る会を開催しています。さらには、保護者にも子供の成長を身をもって感じてもらいたいとの思いから正式な試合形式で、親子剣道大会も行っています。

今後とも会員、指導者が一体となって稽古に励み、教室の誓いの言葉を実践できるよう精進したいと考えています。

三方上中郡若狭町三方五〇一九

(三方小学校内)

練習日 毎週水曜日午後七時〜八時三〇分

練習場所 町立三方小学校体育館

剣道 称号段位合格者

剣道七段審査会

平成十九年十一月十七日

愛知県名古屋

- 小辻省一(福井地区)
- 高倉和則(坂井地区)

剣道六段審査会

平成十九年十一月十八日

愛知県名古屋

- 近藤高士(坂井地区)

剣道錬士審査会

平成十九年十一月三十日

東京都

- 米納智弥(坂井地区)
- 遠藤正宏(坂井地区)

剣道段位審査会

平成十九年十二月九日

福井県立武道館

「初段」 五十名

- 塚本光輔(中央中)
- 森嶋康平(永平寺中)
- 梅田勇翔(池田中)
- 福井靖雄(気比中)
- 角田辰義(池田中)
- 岩泉季生(鯖江中)
- 松坂優汰(栗野中)
- 榎原恵希(灯明寺中)
- 早瀬涼摩(足羽一中)
- 山形慎之介(足羽一中)
- 増田貴彦(鯖江中)
- 仲井駿(池田中)

- 柴辻将史(栗野中)
- 高木亮輔(明道中)
- 清水優仁(池田中)
- 赤星周平(今庄中)
- 中島直太(足羽一中)
- 田中貴大(池田中)
- 新谷浩平(栗野中)
- 富本恢生(気比中)
- 山田浩毅(鯖江中)
- 宮本和輝(栗野中)
- 井上俊之(足羽一中)
- 小寺拳人(坂井中)
- 古村茂高(武生中)
- 与佐岡拓也(鯖江中)
- 山本達也(中央中)
- 山崎遼市(至民中)
- 方山泰宏(坂井中)
- 堀川敬平(福井中)
- 田嶋敬大(高志高)
- 高橋拓未(科技高)
- 江尻和広(羽水高)
- 高島利征(警察官)
- 小倉利晃(勝山地区)
- 呉林寛隆(三方地区)
- 伊藤明彦(警察官)
- 小柳沙稀(足羽一中)
- 寺西春樺(松岡中)
- 柄谷瑞希(足羽一中)
- 近藤詠美(森田中)
- 玉森公実子(松岡中)
- 小林友理子(今庄中)
- 三澤紗也佳(森田中)
- 松川佳織(足羽一中)
- 谷岡真理恵(今庄中)
- 岩木沙耶花(北陸中)
- 中村笙子(福大附属中)

「貳段」 三十五名

- 木村日保(角鹿中)
- 田鳥安紗子(福井高専)
- 楠田ひとみ(福井地区)
- 山崎由樹(鯖江中)
- 奥瀬龍太郎(栗野中)
- 月田一暉(朝日中)
- 久保田陽介(栗野中)
- 今村聡志(大東中)
- 西野友貴(栗野中)
- 増田一燦(鯖江中)
- 石川彰吾(鯖江中)
- 奥井健吾(栗野中)
- 加藤優幸(鯖江中)
- 富田直斗(大東中)
- 坪田有史(北陸高)
- 山下凌(福井高)
- 高橋拓郎(敦賀工高)
- 石橋勇矢(福井高)
- 定政篤史(北陸高)
- 栗木勇(高志高)
- 石田龍太郎(丹生高)
- 妙願雅俊(高志高)
- 西村大輝(高志高)
- 平山聡(越前地区)
- 野路芳司(福井地区)
- 平田光男(勝山地区)
- 白石一衛(丹生地区)
- 石田夏菜(高志高)
- 米澤絢世(啓新高)
- 牧野希(北陸高)
- 松島未佳(藤島高)
- 高嶋玲那(北陸高)
- 小林步未(福井高)
- 高木郁実(高志高)

「三段」 十三名

- 酒井智未(福井高)
- 梯美菜(福井農林高)
- 山田詩織(敦賀気比高)
- 平本ひとえ(福井地区)
- 中村直子(福井地区)

「四段」 四名

- 岡崎賢信(坂井地区)
- 山本浩志(若狭地区)
- 谷口竜哉(福井地区)
- 山田哲也(坂井地区)
- 小山加代子(鯖江地区)
- 佐々木悠(東海大)
- 中嶋美奈(敦賀地区)
- 佐々川祐代(坂井地区)
- 堀川旨明(丹生地区)
- 寺本泰崇(福井工大)
- 前田拓真(福井高専)
- 足立絢哉(福井工大)
- 山崎健太郎(啓新高)
- 永宮悠貴(丸岡高)
- 船田幸祐(啓新高)
- 鈴木弘如(啓新高)

「五段」 七名

- 川村信也(福井地区)
- 平口良一(敦賀地区)
- 堀井信吾(福井地区)
- 手賀薫(越前地区)
- 田中秀幸(福井地区)
- 服部真也(若狭地区)
- 田中基恭(越前地区)

**Q** 竹刀は大体どれくらいの長さの物を用意すればよいのでしょうか？

**A** 全日本剣道連盟の試合規則第三条では、竹刀の長さ、太さが下表のように規定されています。

「質問は、小学生のお子さんの場合の適正な竹刀の長さは、どれくらいが良いかということかと思えます。竹刀の長さの目安は、お子さんが立たれた場合、脇の下くらいの長さのものです。あまり長すぎると竹刀を操作し難くなりますので、短めが良いかと思えます。

### 竹刀の基準

	性別	小学生	中学生	高校生	大学生・一般
長さ	男女共通	111cm以下 (3尺6寸)	114cm以下 (3尺7寸)	117cm以下 (3尺8寸)	120cm以下 (3尺9寸)
重さ	男		440g以上	480g以上	510g以上
	女		400g以上	420g以上	440g以上
太さ (先革の幅)	男		25mm以上	26mm以上	26mm以上
	女		24mm以上	25mm以上	25mm以上

## 少年剣士の部屋

### 世界一少年剣道教室開催！

～世界剣道選手権優勝の栄花選手が来る!!～

- 日時 平成20年3月8日(土) 9時から14時まで(予定)
- 会場 福井県立武道館 剣道大道場
- 講師 栄花直輝(えいが なおき)氏
- 対象者 県内少年剣道教室所属小学生(高学年)  
およびその保護者
- 参加費 無料
- 申込方法 各少年剣道教室を通じて申込み
- その他 剣道具および昼食は各自持参

#### 〈栄花直輝氏 略歴〉

- 2000年 第11回世界剣道選手権大会  
個人優勝
- 同年 第48回全日本剣道選手権大会  
優勝
- 2003年 第12回世界剣道選手権大会  
団体優勝
- 現在 北海道警察機動隊所属

お問合せは、福井県剣道連盟  
(電話 0776-28-6616) まで!!

## 行事予定

- 一月
  - 六日(日) 剣道・居合道初稽古 県立武道館
- 二月
  - 三日(日) 全国都道府県大会県内予選会 県立武道館
  - 九日(土)～十日(日) 北信越高校新人大会 富山県砺波市
  - 十日(日) 剣道段位審査会 越前市武道館
  - 十七日(日) 高校冬季選手権大会 県立武道館
  - 二十四日(日) 居合道合同稽古会 越前市武道館
- 三月
  - 一日(土) 審議会 福井市
  - 二日(日) 第二十回福井県居合道大会 越前市武道館
  - 二十三日(日) 理事会・評議員会 福井市
  - 二十六日(水)～二十八日(金) 第三十回スポーツ少年団大会 静岡県藤枝市
  - 二十七日(木)～二十八日(金) 第十七回全国高等学校剣道選抜大会 愛知県春日井市



# 女性剣士の部屋



江指 恵

私は平成十八年四月に、北海道からこの福井県に引っ越してきました。私自身、東海大学在学中の四年間を神奈川県で過ごしたことを除くと、北海道を出て生活をするということ自体考えたことがなかった。環境が一八〇度変わり不安な毎日を送っていました。また、両膝の全十字靭帯を切断し手術を繰り返していたことから、剣道とも距離を置いていて、なかなか出かけていくこともできませんでした。そんな私の様子を心配した夫の「そろそろ剣道再開したら？」という言葉に背中を押され、その年の国体一次予選が、福井でのデビュー戦になりました。稽古もしていない状況での参加でしたが、「是非参加してください。」と声をかけてくださった県剣道連盟の事務局の方のこの言葉がなかったら、剣道再開のタイミングを逃していたかもしれません。それをきっかけに、大勢の先生方に声をかけていただくようになり、剣道の場へ出かけて行くことが楽しくなってきました。稽古や大会に参加させていただくうちに、私の高校（札幌第一高校）時代の監督だった尾崎譲二先生の大学の先輩や後輩の方々に声をかけていただくようになり、高校時代に北陸高校とも交流があったことから、田中佐代子先輩と再会でき、更に沢山の女性剣士の皆さんと仲良くさせていただけるようになりました。そして、高校二年で初めて出場した全日本女子選手権の一回戦で対戦した木下（旧姓朝倉）さんともお逢いすることが出来ました。本当に「剣道の縁って凄い！」と感じています。

現在は、朝日少年剣道の子ども達や、外部指導者を務めている朝日中学校の生徒達と稽古をしています。これまでの自分の経験を伝え、自分自身も指導することを楽しみながら、もっともっと剣道に関わって行きたいと思えます。そして私が剣道をするのを理解し、応援してくれる夫に感謝しつつ、自分の剣道も忘れずに、いずれは福井県代表として北海道と対戦したい！なんて夢も実現したいと思っています。

## 福井県剣道連盟ホームページ開設のお知らせ

このたび、本連盟のホームページを開設しました。  
HPアドレスは <http://fken.eh-b.net/> です。



是非、一度  
アクセスして  
ください。

④ 現在の内容は次のとおりです。④

- ☆会長挨拶
- ☆行事予定
- ☆組織・役員
- ☆事業報告
- ☆試合結果
- ☆段位審査会合格者
- ☆稽古会・指導者講習会
- ☆新着情報

今後内容を充実して行く予定です。④

内容充実のために皆様のご協力をお願いします。  
お気付きの点やホームページに掲載してほしいことなど  
ありましたら、福井県剣道連盟事務局までご連絡下さい。

福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください。

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 TEL (0776) 28-6616

メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp)